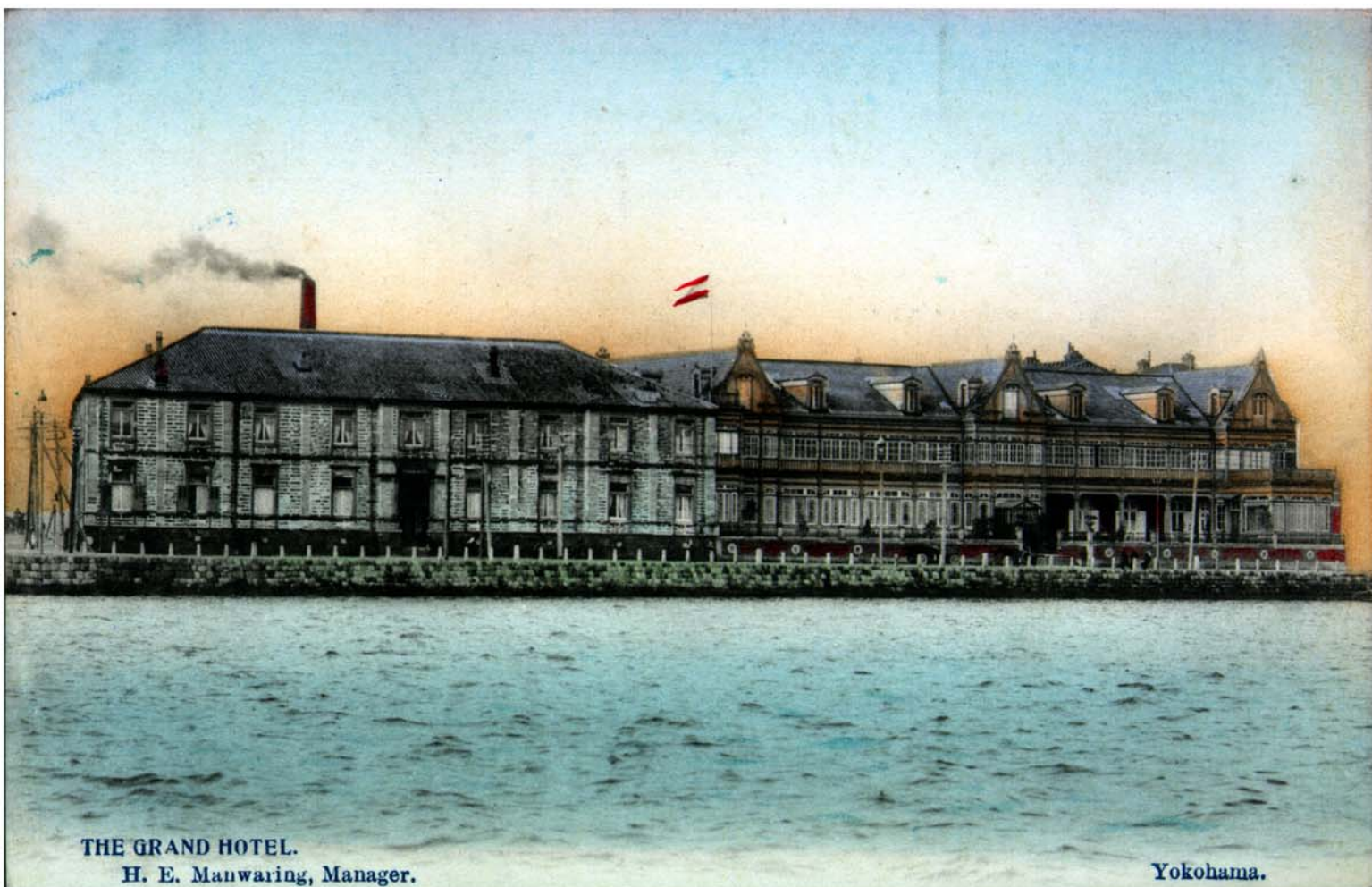


## ●グランドホテル

グランドホテルが、居留地二〇番に新規開業したのは、明治六年（一八七三年）のことである。英軍人W H スミス、英人写真家F H ベアトらの出資による。読書室を備え、明治中期には増築もされ、居留地を代表するホテルであった。

震災当日、建物は倒壊、その後の火災により午後五時過ぎには全焼した。当時の従業員は支配人以下約二四〇人、そのうち五人が圧死した。外国人の避難場所として、敷地裏にテント張りのテントホテルを急造した。

その後、ホテル再建はかなわず、グランドホテル株式会社は、昭和二年（一九二七年）二月一六日に解散した。同年、外国人招致を目的に、名称を公募したホテルニューグランドが、山下町一〇番地に開業したが、これは全く別のホテルである。



震災前：絵葉書「THE GRAND HOTEL H.E.Manwaring, Manager. Yokohama」



震災：紙焼き写真「グランドホテル跡」（『横浜震災被害写真帖』所収）



震災後：絵葉書「(大横浜名所) 山下公園よりホテルニューグランド Hotel New Grand, Yokohama」